



竹中 秀夫 議員



録画配信はこちら

# 役場周辺の土地利用

**Q** 官民一体となって魅力的な公共空間を確保すべき

**A** 複数年にわたる事業となり、進捗過程で議会と協議し進める

**問** 町の職場体制 様々な理由で休職している職員が非常に多く目立っており、喫緊の課題である。  
労働災害の原因及び再発防止に対する安全衛生に関することを審議する安全衛生管理委員会を月に1回開催するものと規則にうたわれている。実績と議論の内容を問う。

**問** 職員の不祥事に 対応する対応 不祥事への対応は担当部署のみで考えるのではなく、全体として考えるべきである。改善に向けての方向性や議論をどのように進めているのか。

**答** (町長) 令和2年度に9回、令和3年度に7回、令和4年度に4回開催した。今年度は、開催していない。職員の健康と職員自らが働きやすいと感じられる職場環境を醸成するための重要な位置づけの会議であるので、下半期において対応する。  
(総務政策監) 開催できてなかったことは、非常に反省をしている。他市町の状況を参考にしつつ、充実した内容で実施していきたい。

**答** (町長) 事務ミス防止研修の開催、コンプライアンスマニュアルの再点検、所属ごとの事務処理に関する一斉点検の実施などを実施している。新たな取り組みとして各所属において業務改善について話し合いの場を持ち、着手できるところから進めている。今後、意見が出やすい同じ年代層の職員同士によるグループワークを計画している。



愛知川庁舎と旧愛知川警部交番間の町道市役場線

**問** 役場周辺の土地利用 旧愛知川交番跡地は整地され、新設された看板には「2025年駐車場に変わります」とあるが、既に駐車場と示されたなかで、どのように一体的な土地利用を行うのか、また町長の示すゆとりある空間、安全・安心な行政エリアについては、官民一体となって魅力的な公共空間を確保すべきである。町長の思いを問う。

**答** (町長) 現在、公共施設の最適配置の取り組みとして、愛知川庁舎を本庁舎として全ての課を配置する庁舎リニューアル工事に取りかかっている。また、平成24年3月に取得し、そのままの状態であった旧愛知川警部交番と、令和4年9月に新たに取得した旧警察官舎を駐車場として活用するため、解体を行なった。愛知川庁舎と旧愛知川警部交番の間には、町道市役場線が通っている。庁舎や保健センター等を利用される皆様から、安全な空間を確保したい思いから、道路を取り込む構成を行政エリアと申し上げた。愛知川庁舎前道路を取り込んだ一体的な土地利用に先駆けた時間は要するが、愛知川栗田線と東部開発道路が交差する交差点をよりスムーズな交通環境の創出に向け、交差点改良への取り組みを始めたところである。説明会の予定はない。複数年にわたる事業となることから、進捗過程で議会と協議し進める。

# 議員研修会 町村議会広報クリニック

令和5年8月28日(月)に、全国町村議員会館で開かれた「令和5年度町村議会広報クリニック」に参加した。「愛荘町議会だより」を、広報作成の専門家に見ていただき、作成方法や記事の書き方などの指導を受けた。

定例会の情報をコンパクトにまとめ、見やすく読みやすく工夫をしているところと、紙面にQRコードを配し、スマートフォンから動画視聴ができることや、また地域への関心を広めるコラムの掲載などについて評価



町の議会だよりについて説明する広報委員長

広報常任委員会  
委員長 久保田 正利

# 防災訓練に参加

9月3日(日)に愛知川東小学校で開催された、町防災訓練に議会議員も参加をした。

100人を超える自治会のみなさんとともに、煙体験や給水体験、また避難所における防災テントを実際に設置をする訓練を行った。

今回の防災訓練はコロナ禍により、4年ぶりの開催となったが、災害はいつ起こるかわからない。この防災訓練が参加者だけでなく、家族や周りの人と防災について語り合うきっかけになってほしいと思う。

総務産業建設常任委員会  
委員長 森野 隆



(防災ヘリコプター救助訓練)



防災テントの設営訓練



煙体験